

諏訪市埋蔵文化財調査報告第56集

# 市内遺跡試掘調査報告書

(平成13年度)

—— 長野県諏訪市内遺跡試掘調査報告書 ——

2002.3

諏訪市教育委員会

# 例 言

1. 本書は、長野県諏訪市内遺跡の平成13年度試掘確認調査報告書である。
2. 本調査は、諏訪市教育委員会が調査主体者となり、諏訪市教育委員会の編成する諏訪市遺跡調査団が調査を担当した。
3. それぞれの現場における調査期間は、遺跡ごとに記載してある。報告書作成作業は平成14年2月から平成14年3月まで、諏訪市埋蔵文化財整理室で行った。
4. 本文中における水系レベルは可能なかぎり絶対標高を使用している。その他は現地における地形図からの読取りの標高である。
5. 現場における記録と整理作業の分担は次のとおりである。  
遺構等実測……宮坂今朝芳・青木正洋・田中 総・藤森敏幸・藤森 豊  
遺物水洗・注記作業……藤森（敏）・宮坂(茂)  
遺物実測及び遺構遺物トレース・図面写真整理……藤森（敏）・青木・田中
6. 本書の執筆については諏訪市教育委員会事務局が担当した。
7. 調査の記録は、諏訪市教育委員会で保管している。  
各遺跡の略称および出土遺物の注記は以下のとおりである。  
(神宮寺跡遺跡・・・JNG 清水遺跡・・・SSMA 穴場遺跡・・・AN 松原遺跡・・・MTB)
8. 発掘調査及び報告書作成に際し、調査・整理作業参加者の他に下記の方々はじめ多くの方々に御指導・御教示を得た。記して感謝申し上げます。  
長野県教育委員会文化財・生涯学習課 諏訪地方事務所 笠原うめ子 鈴島 務 矢崎裕司 河西 淳

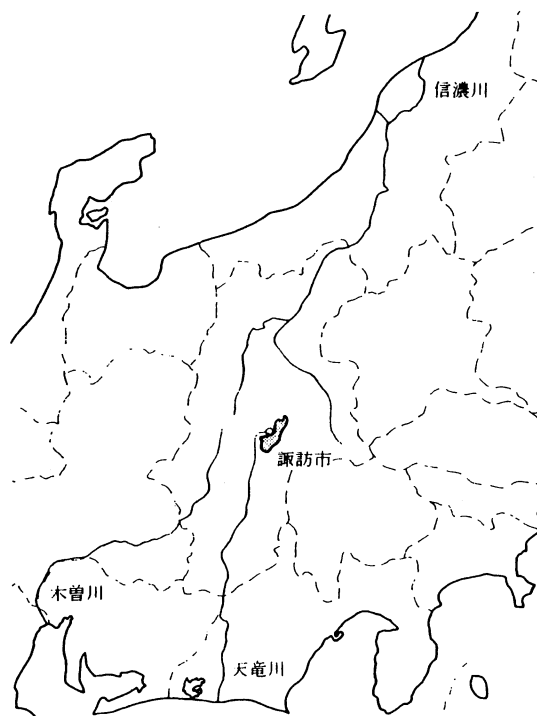
## (目次)

### 例言・目次

I. 市内遺跡試掘調査について	1
II. 神宮寺跡遺跡試掘調査	3
III. 清水遺跡試掘調査	5
IV. 穴場遺跡試掘調査	9
V. 松原遺跡試掘調査	11

### 報告書抄録

### 写真図版



# I 市内遺跡試掘調査について

## 1 今年度の試掘調査

諏訪市内の遺跡は、近年の分布調査などで増加し、現在240ヶ所を超える埋蔵文化財包蔵地が把握されている。市教育委員会では、これらの遺跡において開発などによる破壊が危惧されていることなどから、諏訪市遺跡調査団を編成し、国庫・県費補助事業として「市内遺跡発掘調査事業」を実施し、保護に努めているところである。

本年は、個人住宅建設などに起因した緊急確認調査及び遺跡確認調査が4件実施され、遺構等が確認された遺跡もあるなど、多大な成果を収めることができた。本報告書はそれらの成果を、集成したものである。

### ・補助事業決定の経過

平成13年4月13日付け13生学文第3号

平成13年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書 市内遺跡発掘調査事業（国庫）

平成13年6月4日付け13生学文第4号

平成13年度文化財補助金交付申請書 市内遺跡発掘調査事業（県費）

平成13年6月1日付け13庁財第105号（13教文第1-36号）

平成13年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定通知 市内遺跡発掘調査等事業（国庫）

平成13年6月5日付け長野県教育委員会指令13教文第2-36号

平成13年度文化財補助金交付決定通知 市内遺跡発掘調査等事業（県費）

## 2 調査組織

諏訪市遺跡調査団(平成13年度)

団長 細野 祐 （諏訪市教育委員会 教育長）

副団長 進藤正利 （諏訪市教育委員会 教育次長）

宮坂光昭 （諏訪市文化財専門審議会委員）

調査担当 青木正洋 （諏訪市教育委員会学芸員）

田中 総 （諏訪市教育委員会学芸員）

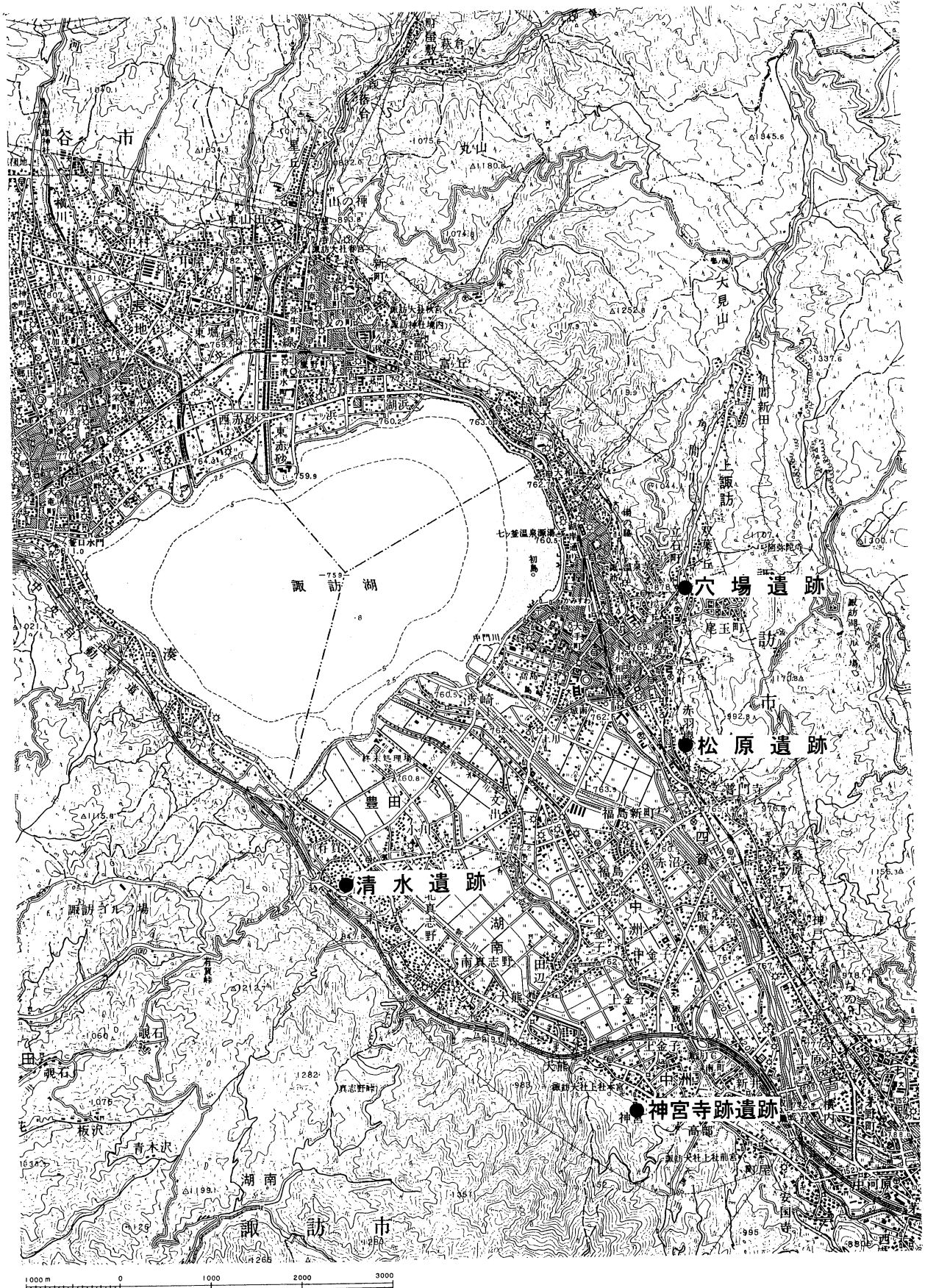
調査団員 増沢清久・矢崎末明・宮坂 毅・宮坂茂子・藤森敏幸・藤森 豊

(事務局)

事務局長 岩波文明 （諏訪市教育委員会 生涯学習課長）

事務主幹 宮坂今朝芳 （諏訪市教育委員会 生涯学習課文化財係長）

事務局員 青木正洋・田中 総（諏訪市教育委員会 生涯学習課文化財係）

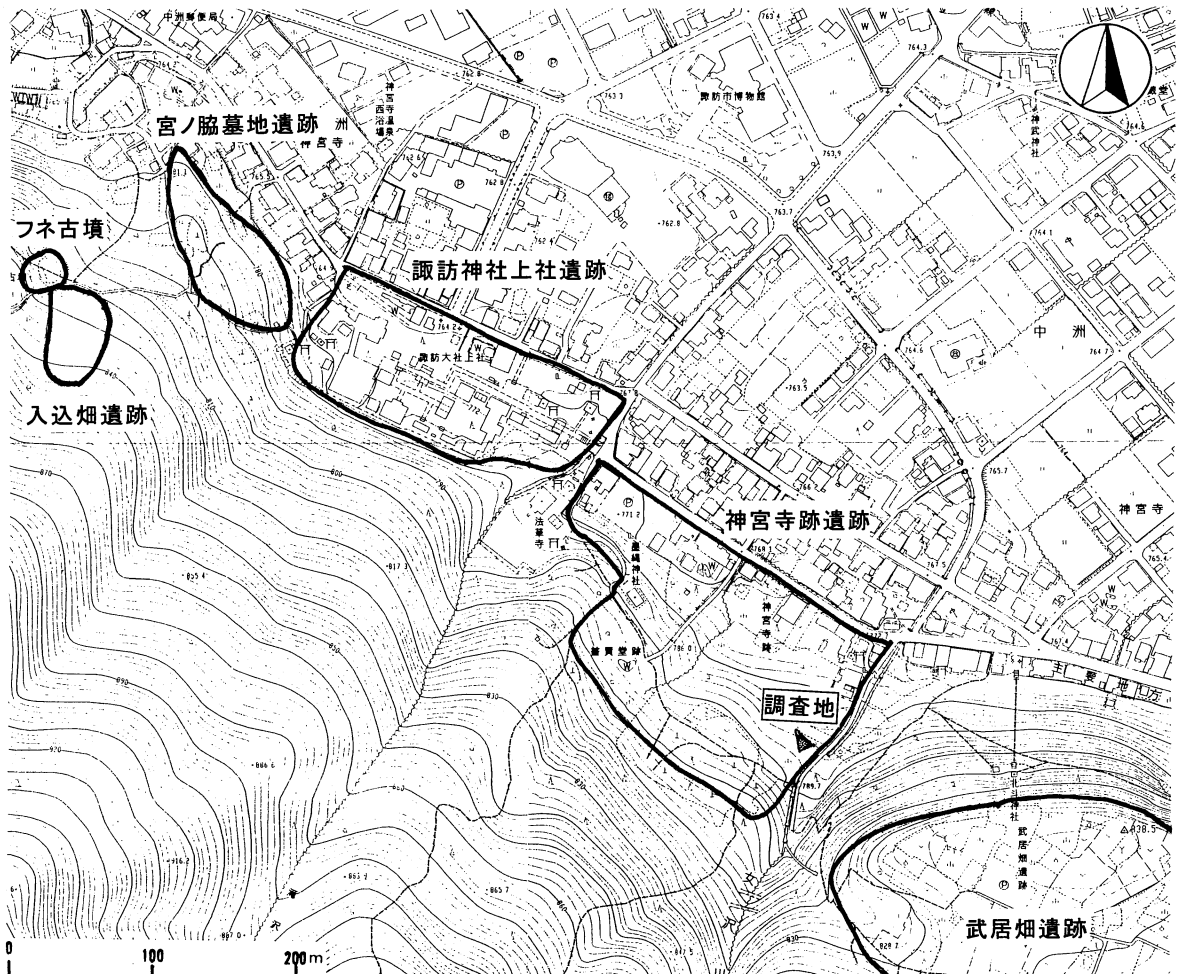


第1図 平成13年度調査遺跡位置図

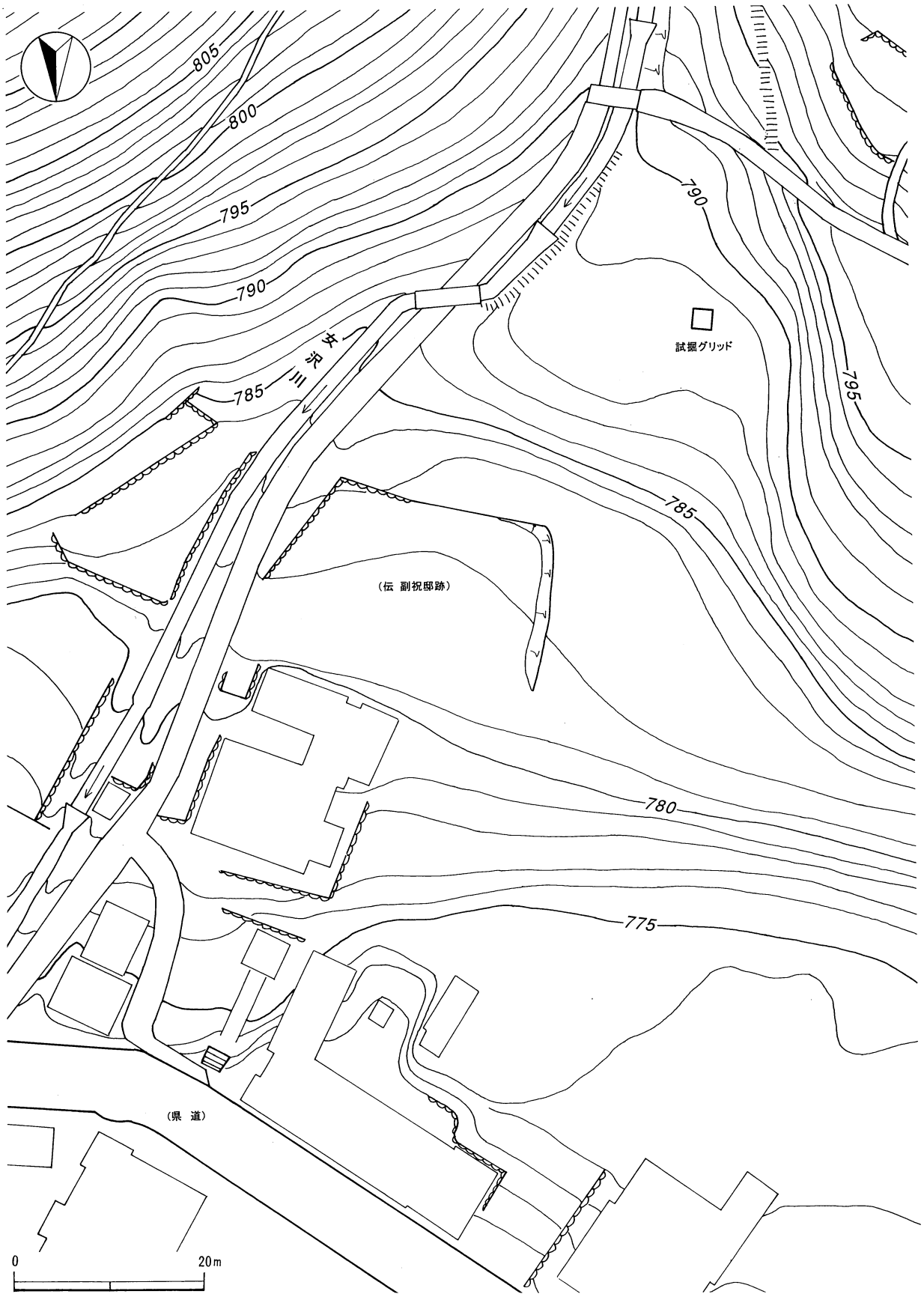
## Ⅱ 神宮寺跡遺跡試掘調査

- |        |           |        |                |
|--------|-----------|--------|----------------|
| 1.所在地  | 諏訪市中洲844  | 2.調査期間 | 平成13年6月11日     |
| 3.調査面積 | 4㎡        | 4.調査目的 | 索道施設工事に先立つ試掘調査 |
| 5.調査担当 | 青木正洋      | 6.検出遺構 | なし             |
| 7.出土遺物 | 陶器片・匙状銅製品 |        |                |
- 各1点

神宮寺跡遺跡は滝沢川と女沢川に隣接する台地上に立地する(第2図)。諏訪大社上社本宮境内に隣接し、かつて諏訪神社別当としての神宮寺とその関連施設が建立されていたが、明治維新の廃仏毀釈によって全て破却されてしまい、現在その痕跡はほとんど認められない。神宮寺跡遺跡については過去3次にわたって部分的に発掘調査が行われており、室町期～近世の遺構・遺物が発見されている。今回の調査は女沢川における砂防ダム工事に係る索道施設設置工事に先立ち行なったもので、該当箇所にて2×2mの試掘グリッドを設定し、掘り下げを行なった(第3図)。その結果、旧耕作地でもある当地点では耕作土以下、上方からの流れ込みである二次堆積層が続き、遺構は確認されなかった。なお工事作業終了後、現地は原状回復がなされた。



第2図 遺跡位置図



第3図 調査区全体図  
 (伝 副祝邸跡地測量を含む)

### Ⅲ 清水遺跡試掘調査

- |        |             |        |               |
|--------|-------------|--------|---------------|
| 1.所在地  | 諏訪市豊田3615-ニ | 2.調査期間 | 平成13年8月9日・10日 |
| 3.調査面積 | 18㎡         | 4.調査目的 | 住宅建設に先立つ試掘調査  |
| 5.調査担当 | 青木正洋        | 6.検出遺構 | 竪穴住居(弥生中期) 1軒 |
| 7.出土遺物 | 弥生土器ほか      |        |               |

計361点(第1表参照)

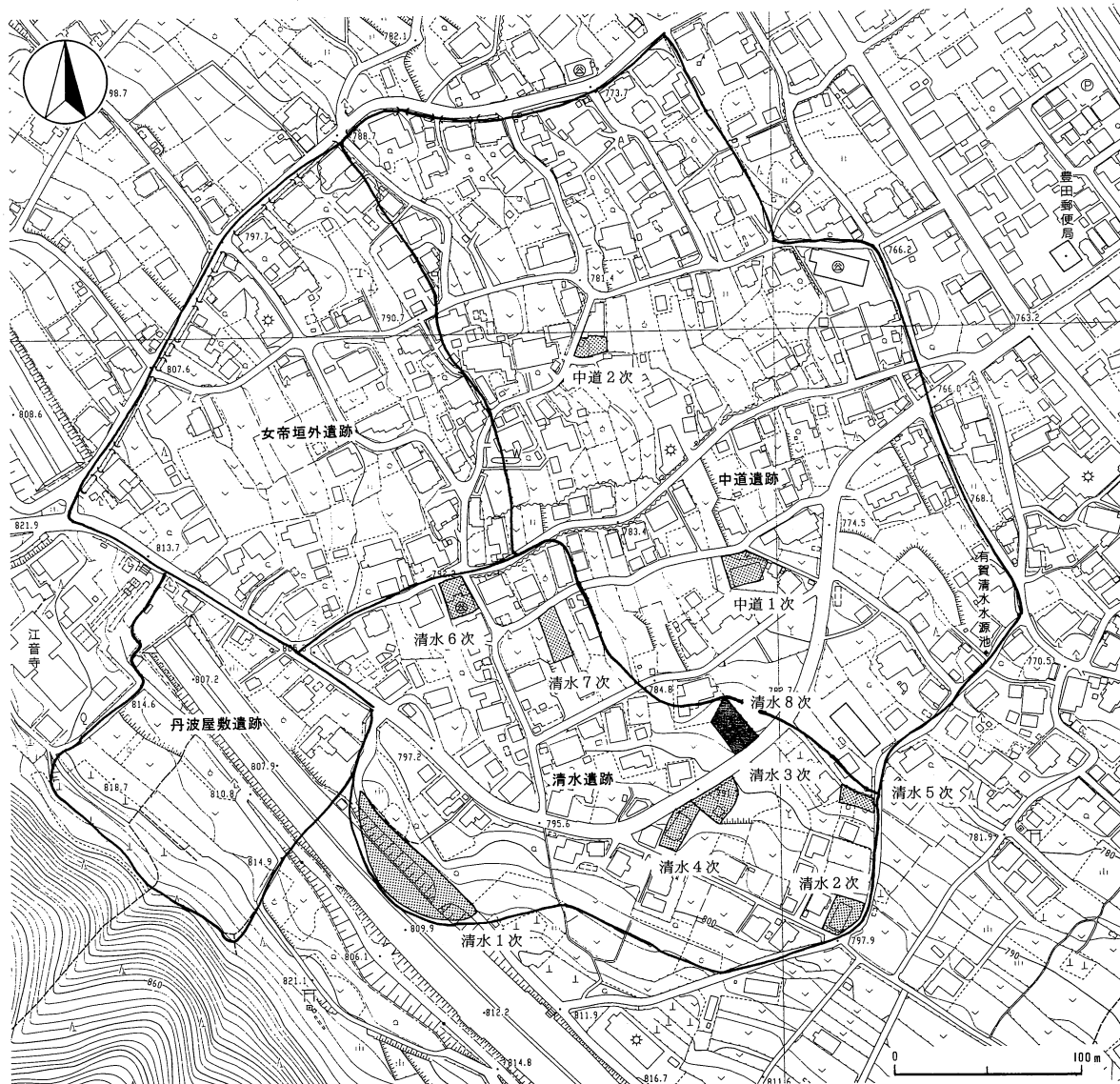
清水遺跡は女帝垣外遺跡南方に連続する北東向き斜面上に立地し、下方には中道遺跡が分布する(第4図)。中央道建設に先立ち、昭和48年に第1次発掘調査が実施され、その後7次まで発掘・試掘調査が行われているが、一般的に遺構の検出例は少ない。第3次調査では、縄文時代晩期～弥生時代中期前半の土器が出土し、当遺跡が縄文時代から弥生時代へ続く段階に帰属していることが明らかとなった。

今回の8次調査では中道遺跡に隣接する地点が該当し、設定した試掘グリッドのうちNo.2・3グリッドの2ヶ所で、弥生中期の遺物がまとまって見つかり、ローム層を掘り込んで形成した平坦な床面と壁体を確認した。グリッドを拡張した結果、炉跡とみられる焼土址と床面の広がりを確認できた(第5・6図)。ただし覆土一部は過去の耕作によるかく乱が著しく、遺物の出土状態と遺構との関連づけは難しいものがあったが、状況から判断すると本来、覆土中にあったものが巻き上げられたと見なして良いようである。床面付近から発見された遺物(第7図10)は弥生中期土器であった。これによってNo.2・3グリッド発見の遺構は弥生中期前半に帰属する竪穴住居跡と判断された。遺物(第7図)は弥生中期前半のいわゆる庄ノ畑式土器が単純に発見されており、1・13～16が壺に属するとみられる他、条痕調整を施したものが主体となる。石器類は黒曜石製のものが主体となり、石鏃(19)及び未製品(20)のほかスクレーパー(21)等がある。打製石斧(22・23)のうち22は刃部相当部位に敲打痕があり、ハンマーに転用されたとみられる。剥片をはじめとする石器製作関連資料の出土が目立っていることなどから、住居については石器製作址かそれに関する残滓の廃棄場所の可能性が考えられる。なお当地点の工事に際しては、土盛工法を行なうことで遺構は保存されることとなった。

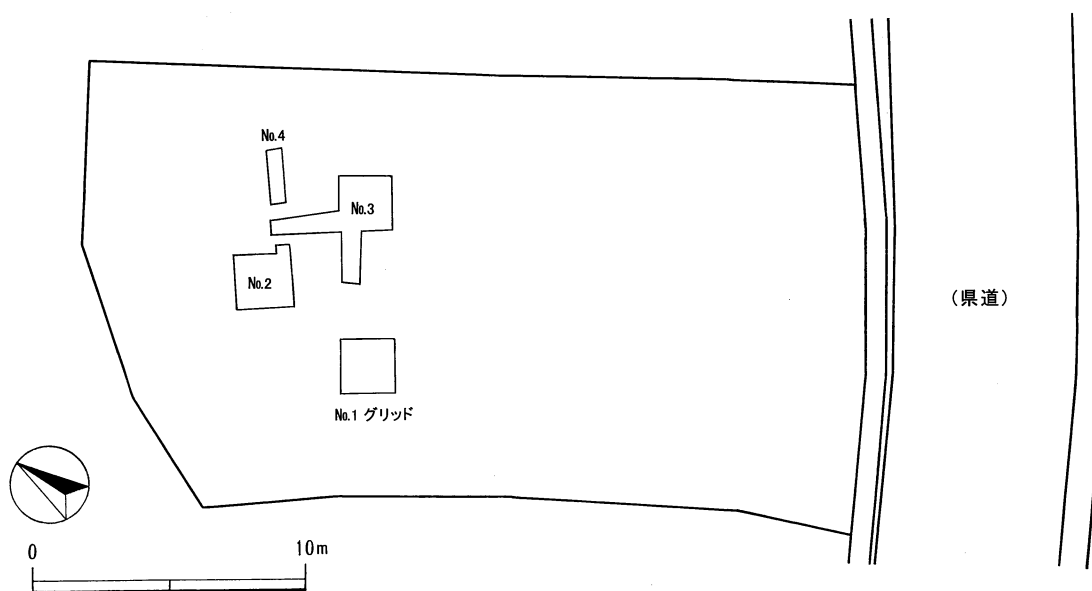
	土器		石器					
	弥生土器	その他土器類	黒曜石製			その他石材		
			TOOL	剥片・砕片	石核	原石	TOOL	剥片・砕片
No.1グリッド		平安時代陶器 3		1				
No.2グリッド	36	時期不詳 15	ピエス 1	20			打斧(欠損) 1	
No.3グリッド	81	古墳時代須恵器 1 平安時代陶器 1 時期不詳 8	石鏃 1 石鏃(未) 1 スクレーパー 1 ピエス 5	75	3		打斧 2 安山岩製石鏃 1	3
No.4グリッド	27		石鏃未製品? 1	22			打斧(欠損) 1	1
No.5グリッド	20	平安時代陶器 1		12	1			
表 採	1	近世陶器 1 時期不詳 3	石鏃未製品? 1	4				
合 計	165	33	14	134	4	2	5	4

※土器の点数は破片数による。

第1表 出土遺物点数表

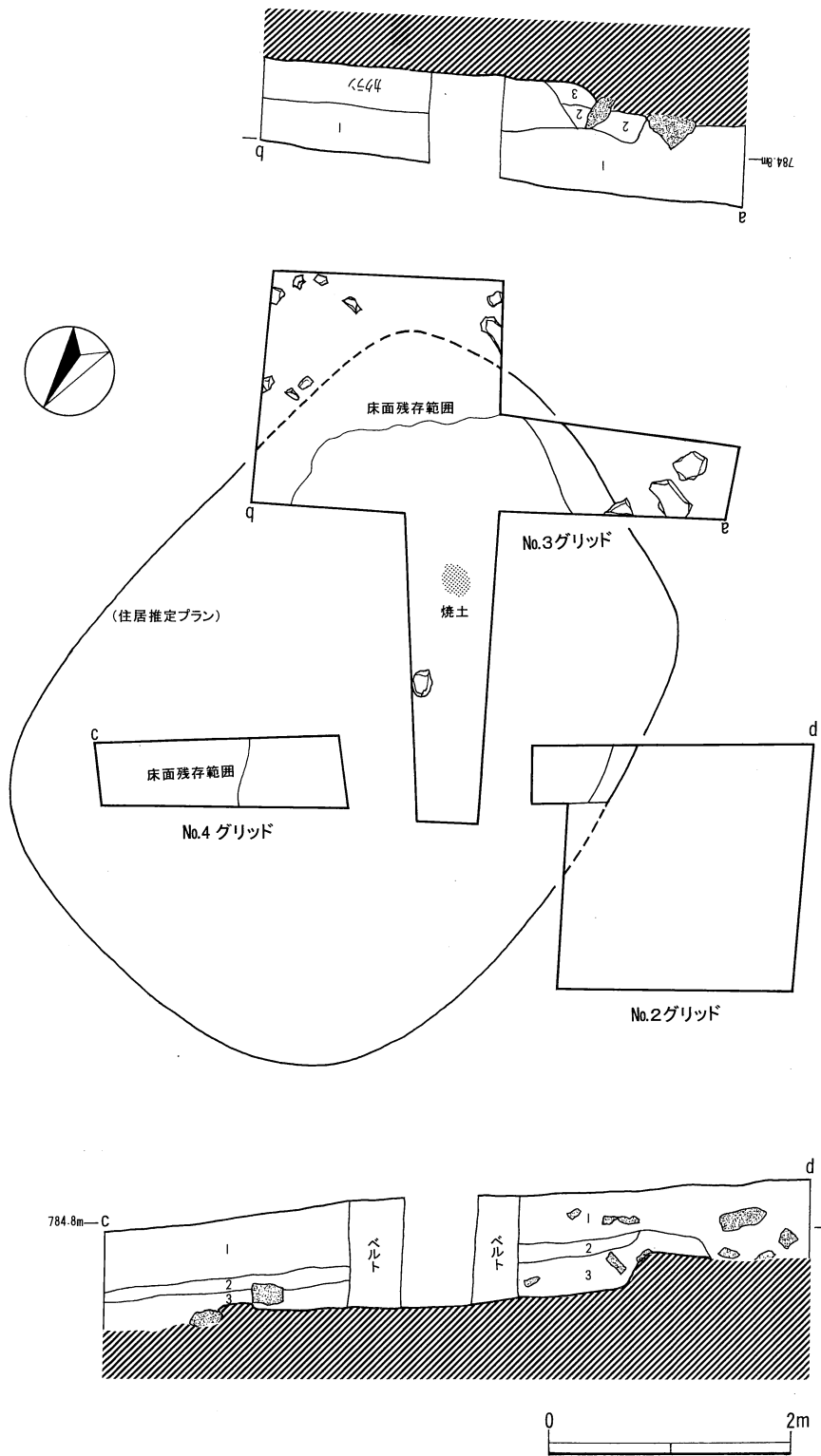


第4図 遺跡位置図



第5図 調査区全体図

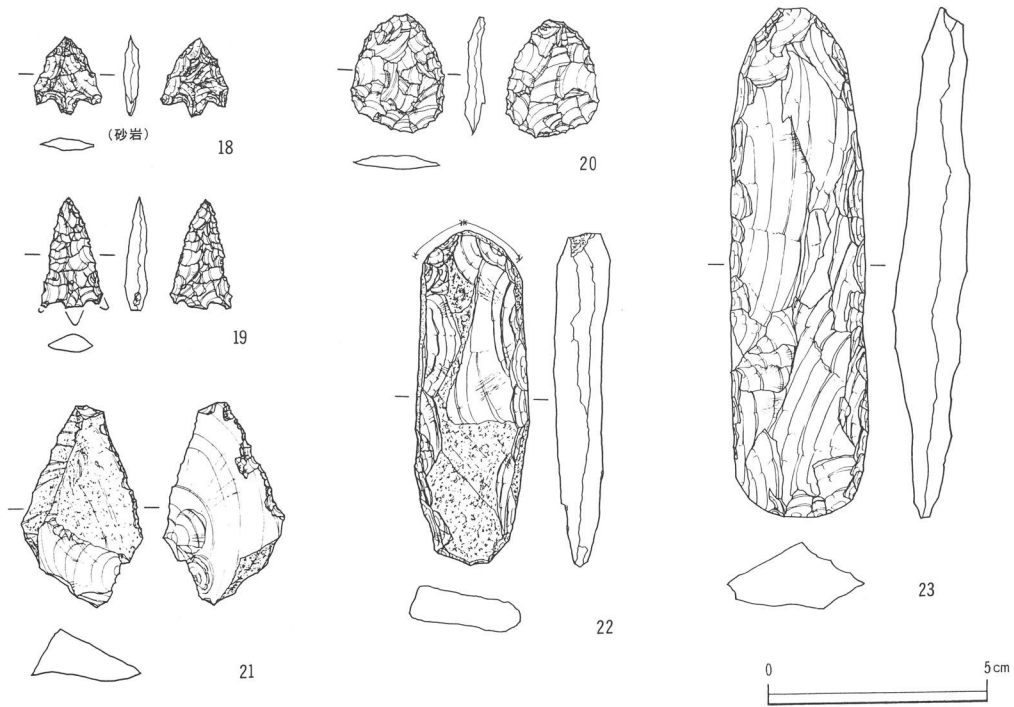




【土層注記】

- 1層：耕作土。
- 2層：暗褐色土。炭化粒子が多く含まれ、土質はしまり良く、粘性もやや認められる。  
弥生・平安時代の遺物がまばらに含まれ、住居覆土の上層に相当するとみられる。
- 3層：暗褐色土。土質は2層と近似するが、色調はやや明るい。炭化粒子の混入は少なくなる。住居覆土の下層にあたり、弥生土器がまとまって含まれる。
- 4層：明褐色土。ロームが多く混入し、しまり・粘性ともに富む。ロームとの漸移層か？  
ローム：明褐色を呈する。礫の混入が著しく、全体に硬質。

第6図 遺構実測図及び土層断面図



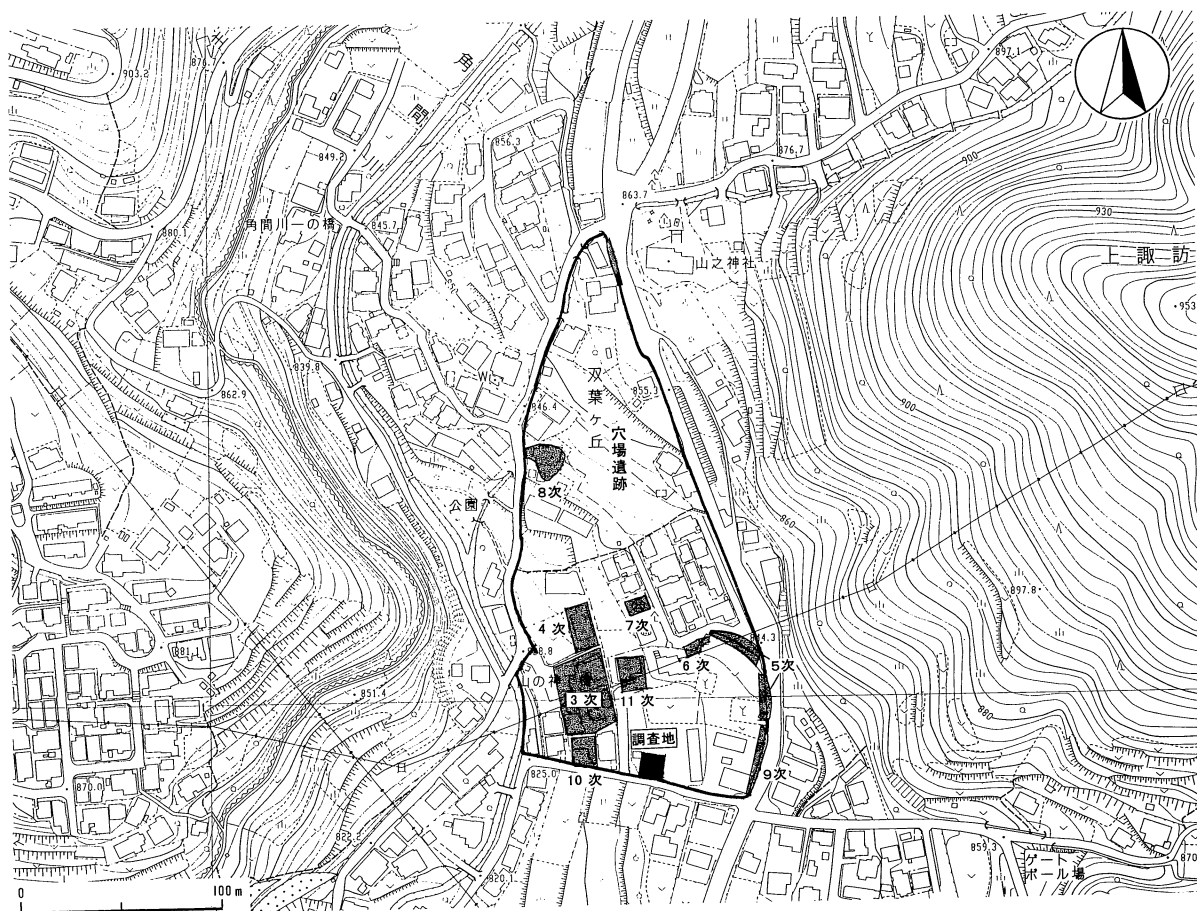
第7图 出土遺物

## IV 穴場遺跡試掘調査

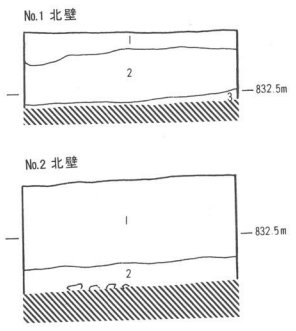
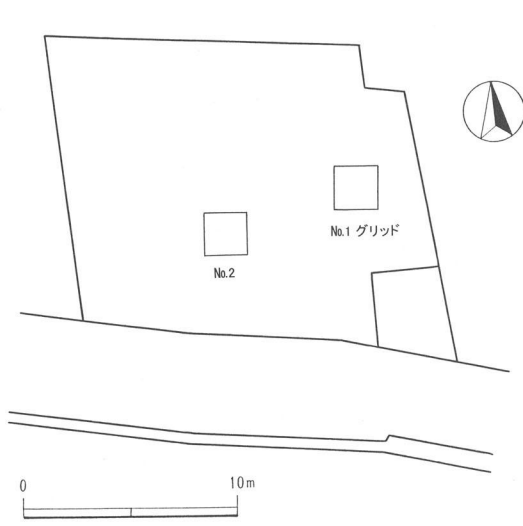
1.所在地	諏訪市上諏訪6292	2.調査期間	平成14年3月13日
3.調査面積	8㎡	4.調査目的	住宅建設に先立つ試掘調査
5.調査担当	青木正洋	6.検出遺構	なし
7.出土遺物	縄文土器 10点 黒曜石製剥片 1点		

穴場遺跡は角間川左岸の扇状地として広がる緩斜面に立地する(第8図)。縄文時代の集落遺跡としては市内有数の大遺跡であり、縄文時代中・後期が主体となる。また平安時代の集落跡としても知られる。現在は宅地化が進みつつあり、過去12回の緊急発掘調査が行われている。

第13次となる今回は、2ヶ所のグリッドを設定し試掘確認調査を実施した(第9図)。遺構・遺物の分布は認められず、旧地形が傾斜地であったことから、土層中には斜面上部から崩落してきた礫が多く含まれていた。したがって当地点については、遺跡主体部分から外れると考えられ、事前の発掘調査の必要性はないと判断された。出土遺物は縄文早期押型文土器(第10図1)1点の他は、全て縄文中期土器(2～4)であった。



第8図 遺跡位置図

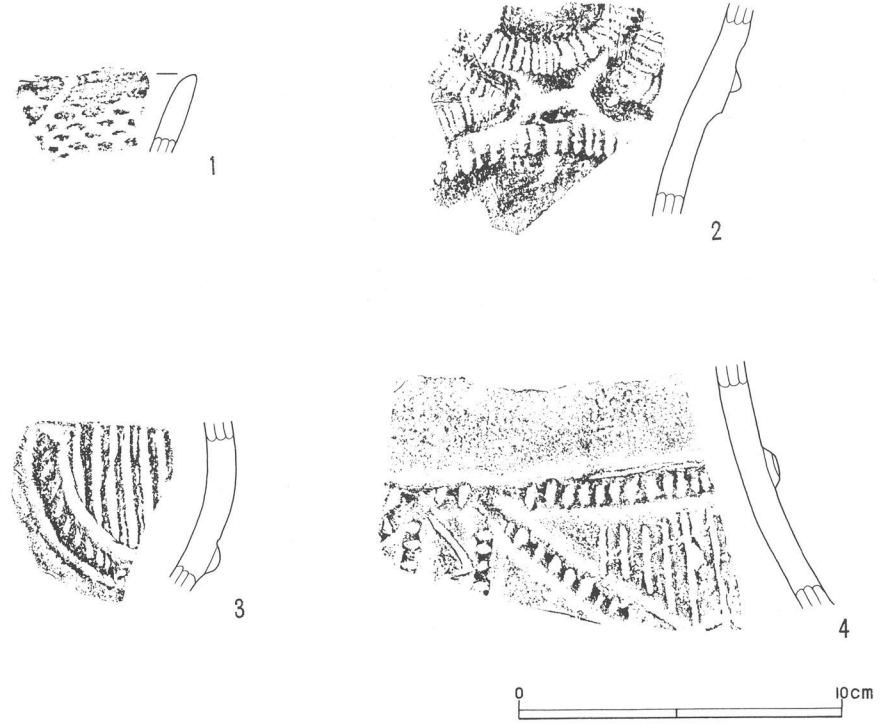


【土層注記】

1層：旧宅地造成によりかく乱を受ける。

2層：暗褐色土。上方からの流れ込みと見られる礫が多く入るが、しまりがあり硬質。No.2グリッドでは縄文時代遺物の出土があった。

3層：褐色ローム。腐食礫が多く混入し、上面にはブロック状になった2層が混在する。



第10図 出土遺物

## V 松原遺跡試掘調査

- |        |                     |        |                 |
|--------|---------------------|--------|-----------------|
| 1.所在地  | 諏訪市四賀7290・7292・7293 | 2.調査期間 | 平成14年3月18日～20日  |
| 3.調査面積 | 43㎡                 | 4.調査目的 | 遺跡確認調査          |
| 5.調査担当 | 青木正洋                | 6.検出遺構 | 竪穴住居4軒(縄文1 弥生3) |
| 7.出土遺物 | 縄文土器ほか376点(第2表参照)   |        | 小竪穴2基 集石遺構1基    |

今回調査を実施した松原遺跡は新発見の遺跡であり、諏訪盆地を見渡す台地上に立地する(第11図)。過去に行なった踏査等による市内遺跡分調査によれば、四賀地区北部の赤羽根・武津地籍では大黒様遺跡や武津通り遺跡など縄文～弥生時代期の遺跡が知られていたが、松原地籍については遺跡の登録は行なわれていなかった。現地は畑地として利用されており、縄文・弥生土器等の遺物がかねてより採集されているという情報が地元関係者より市教育委員会に寄せられた。現地踏査の結果、縄文～弥生時代遺物が採集され、台地斜面には古墳の横穴式石室に類似する巨大な石積みの一部が地表に露出している状況もみられた。地形の特徴からは集落跡の存在の可能性も考えられ、前記の石積みとの関連を含め、将来的な埋蔵文化財保護のデータを得ておく必要性が考慮されたため、試掘を伴う遺跡確認調査を実施することとした。

調査は台地上に9ヶ所の試掘グリッドを設定し、掘り下げを行なった(第12図)。その結果、縄文・弥生時代の遺物・遺構の分布が認められ、当該期の集落遺跡であることが明らかとなった。No.4グリッドでは弥生中期後半土器(第14図5～7)が2層下部よりまとまって発見され、その下層からは竪穴住居と見られる縄文中期中葉土器(1～3)を伴う掘り込みが発見されている。No.1グリッドでは時期不詳のピット、No.8グリッドでは弥生中期後半土器(8・9)を伴う小竪穴(?)が発見された。No.7グリッドでは新旧関係がはっきりしなかったが、焼土址を伴う床面と掘り込みが確認され、遺物(10～12)の分布状況から弥生中期に帰属する竪穴住居跡と判断した。またNo.9グリッドについてはローム上面に集石と焼土址及び埋設された弥生土器が見つ

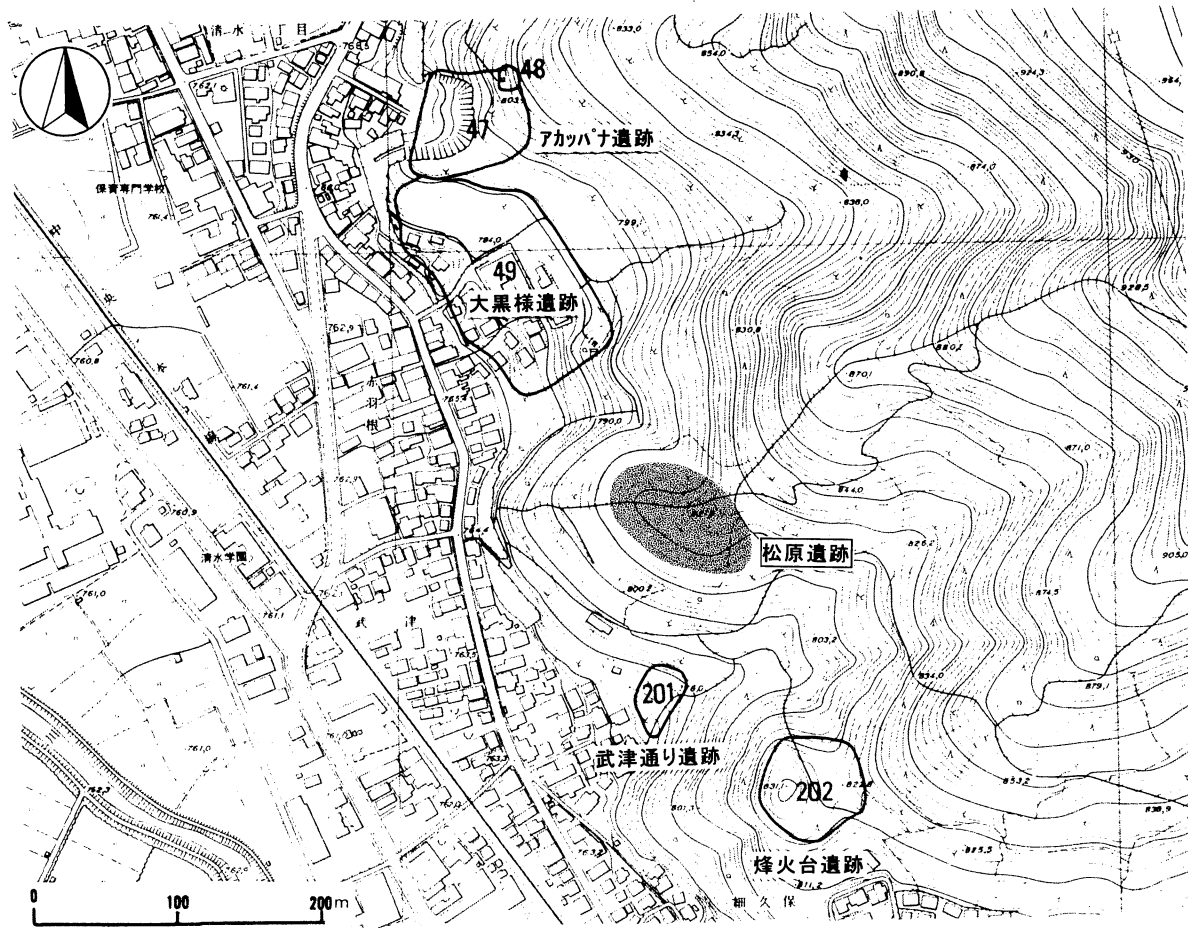
かった。性格は不明であるが竪穴住居跡に関連する遺構と見られ、弥生中期～後期の土器(13・14)が見つかっている。No.2・3・5・6グリッドについては、ローム面まで削平されていた。

台地背後には中世山城である井森城があり、今回の調査では確認が出来なかったが、館跡など関連する遺構の存在も考慮される。なお同地では古墳時代の土器類も採集されている。

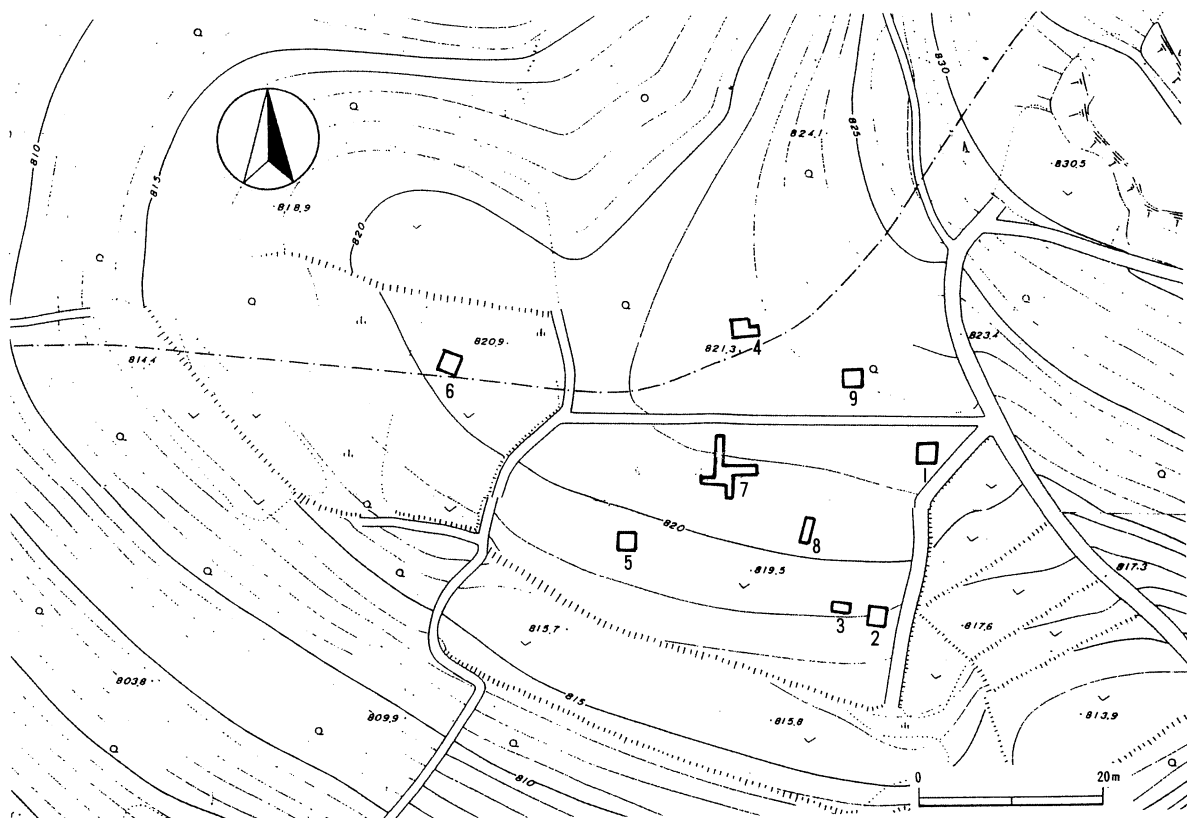
	土器			石器類	
	縄文土器	弥生土器	時期不詳	黒曜石製	非黒曜石製
No.1グリッド	18	1	3	石鏃未製品 剥片 石核 1	1 5 1 1
No.2グリッド				1 剥片	1
No.3グリッド		13		6 剥片	1
No.4グリッド	22	63	24	ヒノキスチ-1 剥片 原石 1 1 1	1 打製石斧 1 石皿片 1 剥片 3 1 2
No.5グリッド			3	3 剥片	1
No.6グリッド					
No.7グリッド	2	83	26	石鏃 剥片 1 6	1 二次加工のある剥片 6 石皿 1 1
No.8グリッド	3	10	4	4 原石	2 打製石斧 1
No.9グリッド	4	50		1 原石 6 剥片	1 打製石斧 1
計	49	220	67		29 11

※石器類の点数は破片数による

第2表 出土遺物点数表

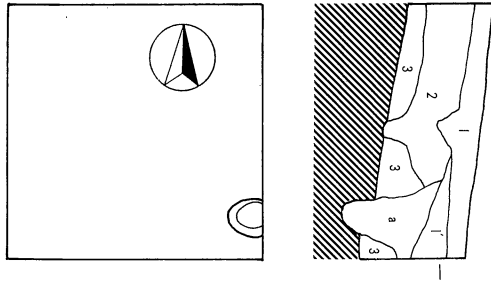


第12図 調査区全体図

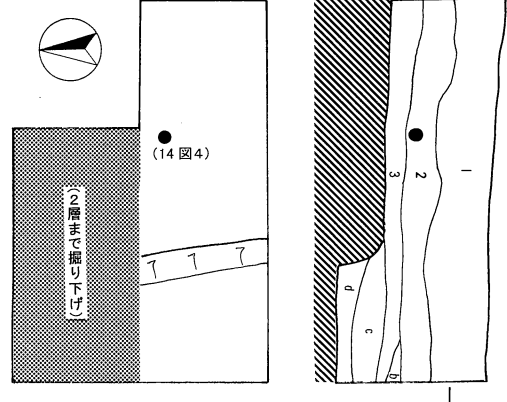


第12図 調査区全体図

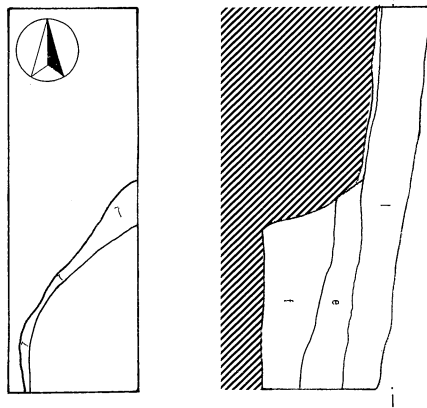
No.1 グリッド



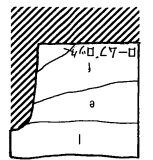
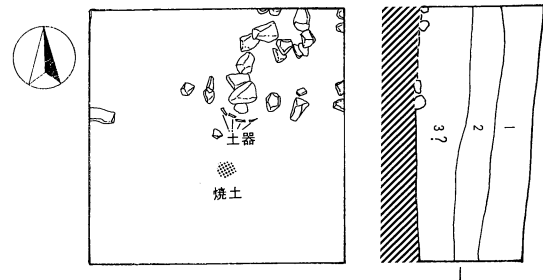
No.4 グリッド



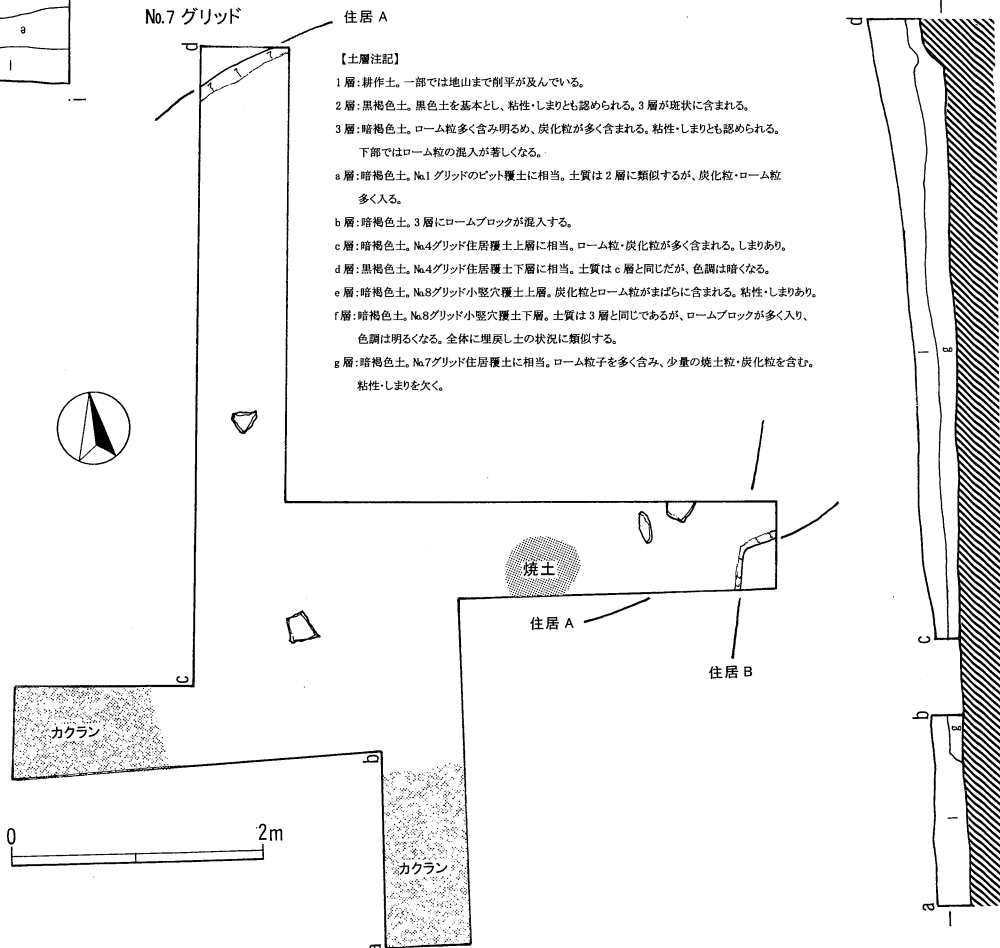
No.8 グリッド



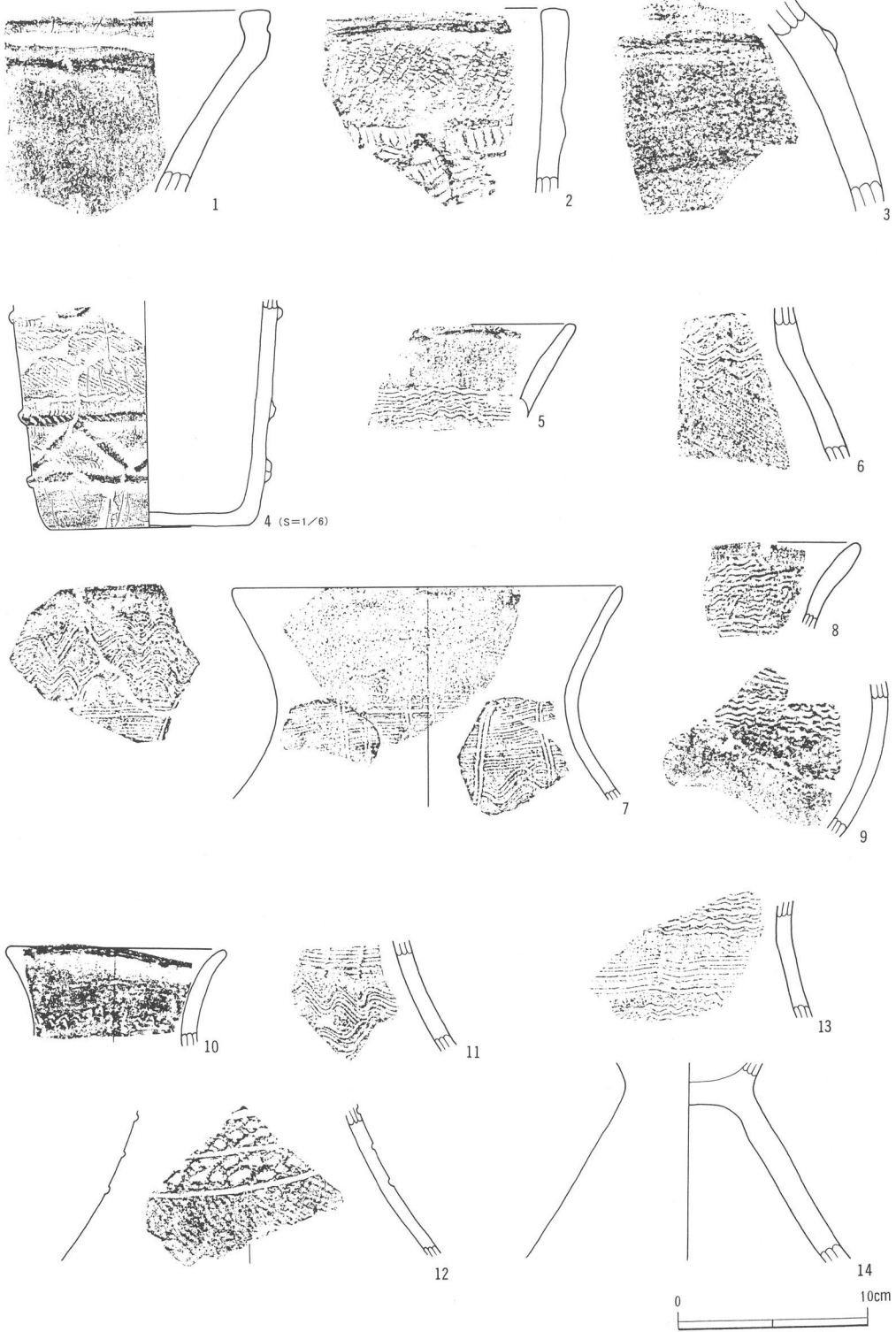
No.9グリッド



No.7 グリッド



第13図 遺構実測図及び土層断面図



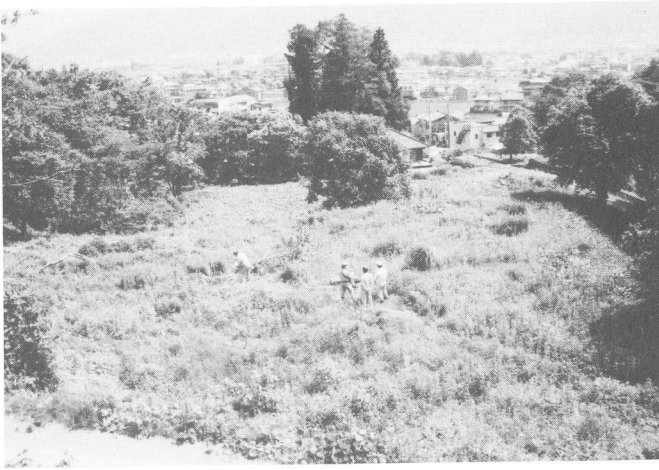
第14図 出土遺物

(1~7: No.4 グリッド 8・9: No.8 グリッド 10~12: No.7 グリッド 13・14: No.9 グリッド)



## 報告書抄録

ふりがな	しないいせきはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	市内遺跡発掘調査報告書							
副書名	平成13年度諏訪市内遺跡試掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	諏訪市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第56集							
編著者名	青木正洋・田中 総							
編集機関	諏訪市教育委員会							
所在地	〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266(52)4141							
発行年月日	2002年3月27日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
じんぐうじあと 神宮寺跡遺跡	すわし なかす 諏訪市中洲	20,206	353	35° 59' 36"	138° 07' 30"	2001.6.11	4	索道施設工事に係る事前調査
しみず 清水遺跡	すわし とよだ 諏訪市豊田	20,206	311	36° 00' 54"	138° 05' 17"	2001.8.9 ~8.10	18	個人住宅建設に係る事前調査
あなば 穴場遺跡	すわし かみすわ 諏訪市上諏訪	20,206	26	36° 02' 43"	138° 07' 49"	2002.3.13	8	個人住宅建設に係る事前調査
まつばら 松原遺跡	すわし しが 諏訪市四賀	20,206	247	36° 01' 45"	138° 07' 50"	2002.3.18 ~3.20	43	遺跡分布調査
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
神宮寺跡	社寺跡	中・近世	なし		陶器片・匙状銅製品			
清水	集落跡	弥生	竪穴住居		土器、石器(弥生)			
穴場	集落跡	縄文	なし		土器、石器(縄文)			
松原	集落跡	縄文・弥生	竪穴住居、小竪穴		土器、石器(縄文・弥生)		新規発見	



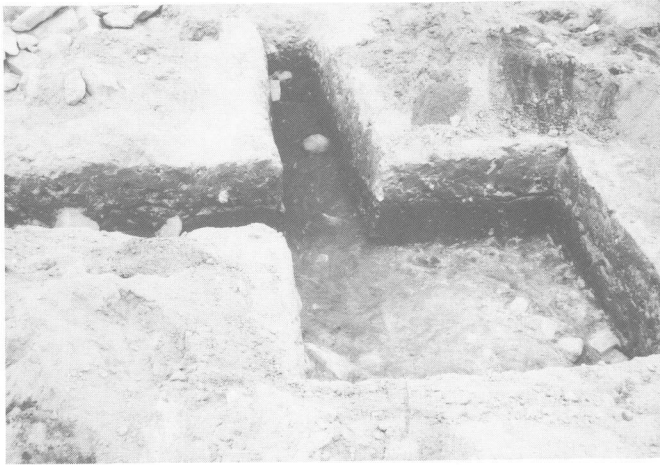
神宮寺跡遺跡調査地近景



神宮寺跡遺跡試掘グリッド完掘  
状況（南から）



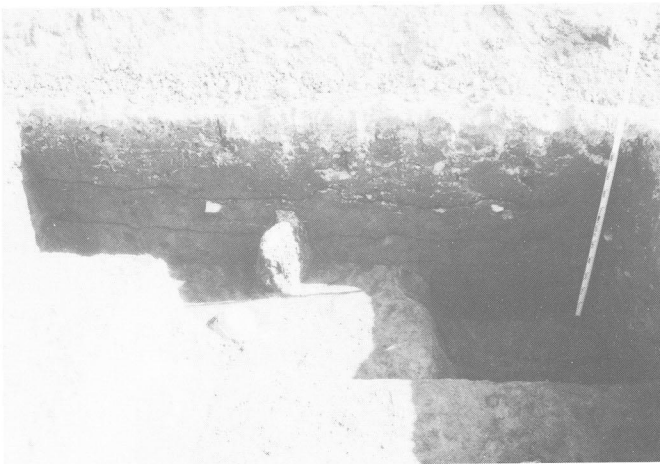
清水遺跡調査地近景



清水遺跡No.3 グリッド完掘状況  
(南から)



松原遺跡近景



松原遺跡No.4 グリッド完掘状況  
(北から)



松原遺跡No.4 グリッド遺物出土状況



松原遺跡No.7 グリッド完掘状況  
(東から)



松原遺跡No.9 グリッド遺物出土状況

---

**市内遺跡試掘調査報告書（平成13年度）**

— 長野県諏訪市内遺跡試掘調査報告書 —

平成14年3月27日

編集 長野県諏訪市高島1-22-30

発行 諏訪市教育委員会

印刷 (株)マルジョー上田印刷

---